

4 自由権とは

教科書 pp.62～63

内容整理 空欄にあてはまる語句を書き込もう。

自由権とは

- ・一人ひとりの異なる生き方や考え方が大切にされるという ① **個人の尊重** を土台に、だれもが自分らしく生きることができるよう、日本国憲法では ② **基本的人権** の中心に ③ **自由権** を位置づけている。
- ・憲法は、私たちの生活が国家権力により不当に侵害されない権利として、以下の三つを保障している。
 - ④ **人身** の自由（生命の自由、身体の自由ともいう）
 - ⑤ **精神** の自由
 - ⑥ **経済活動** の自由

人身（生命・身体）の自由

- ・⑦ **人身**（生命・身体）の自由は、すべての自由権の基礎となる権利であり、憲法上の権利を享受するための前提となる権利でもある。憲法では、以下の権利を定めている。
 - 奴隷的拘束及び ⑧ **苦役** からの自由（第18条）…国家権力によって人格を無視した取りあつかいを受けない。
 - ⑨ **法定手続き** の保障（第31条）…法律で定められた適正な手続きによらなければ刑罰を科されない。
 - ⑩ **罪刑法定** 主義…刑罰を科す場合には刑罰をあらかじめ法律で定めておかなければならない。
 - ⑪ **黙秘権**（第38条）や ⑫ **弁護人** を依頼する権利…刑事事件の被疑者・被告人に保障される。
 - ⑬ **令状** 主義…裁判所の発行する ⑬ なしの逮捕・搜索・押収・自白の強要や拷問、残虐な刑罰を科すことを禁じる。ただし、⑭ **現行犯** の場合は、⑬ なしでの逮捕が認められている。
 - ⑮ **再審** 制度…罪を犯していないにもかかわらず罪にとわれる ⑯ **冤罪** 事件を防ぐ。

精神の自由

- ・自分の生き方を選択するとともに、民主主義を維持・発展させるために不可欠な権利である ⑰ **精神** の自由は、大日本帝国憲法下では大きな制約があった。過去の歴史の反省にたち、憲法では以下の権利を保障している。
 - ⑱ **思想** 及び良心の自由（第19条）
 - ⑲ **信教** の自由（第20条）…国家の政治が宗教と結びつくことを禁じた ⑳ **政教分離** の原則が明記されている。

解説 苦役

肉体的・精神的な苦痛を受ける強制的な労働。

解説 冤罪

罪を犯していないのに罪に問われること。ただし、判決確定後、判決に重大な欠陥があった場合に開かれる再審で、逆転無罪になる例もある。

②0 表現の自由（第 21 条）…政治参加において不可欠である、内心の思想や情報を周囲や社会に表明できる権利。

②1 集会・結社・言論・②2 出版の自由、②3 学問の自由、検閲の禁止、通信の秘密など

- ・ただし、表現の自由の行使が個人の基本的人権を侵害する場合は、「②4 公共の福祉」によって制限される。

経済活動の自由

- ・②5 経済活動の自由は、資本主義経済にのっとり、不当な制約や制限を受けることなく自由に経済活動を営むための権利であり、憲法では以下の権利を保障している。

②6 財産権（第 29 条）

②7 居住・移転・②8 職業選択の自由（第 22 条）

- ・ただし、自由な経済活動により社会全体の利益をそこなう場合には、「②9 公共の福祉」に反しない限り」という制約を受ける。

解説 公共の福祉

人権どうしの矛盾や衝突を調整する原理で、他人の人権との関係で、人権がもともと受けることになっている制限のこと。

作業 空欄にあてはまる語句を書き込もう。（p.62 の表 3 をみて書き込もう）

過去の冤罪事件

事件名	罪名：確定判決	再審判決
金森事件	放火：懲役 15 年	1970 年
① 事件	強盗殺人：死刑	1983 年
② 事件	強盗殺人：死刑	1984 年
③ 事件	強盗殺人・放火：死刑	1984 年
徳島ラジオ商事件	殺人：懲役 13 年	1985 年
梅田事件	殺人：無期懲役	1986 年
④ 事件	殺人：死刑	1989 年
袴田事件	強盗殺人・放火：死刑	2024 年

①	免田
②	財田川
③	松山
④	島田

調べてみよう 次の語句の意味を、教科書等を参考にしながら説明しよう。

①	政教分離の原則	国家が特定の宗教を禁止、強制、保護することを禁じる原則。
②	公共の福祉	人権どうしの矛盾や衝突を調整する原理。他人の人権との関係で、人権がもともと受けることになっている制限のこと。

考えてみよう 多数決の原理、少数者の意見の尊重などの観点から、「表現の自由」が必要な理由を考えてみよう。

例）民主政治にとって不可欠である討論の自由を保障することになるから。